

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 4 日

札幌市立北辰中学校 ひまわり分校

1 今年度の重点目標

- ・病気に立ち向かう力と豊かな人間性の育成
- ・学ぶ力、学ぼうとする力の育成
- ・信頼される学校づくり

2 本年度の経営方針

- ・信頼関係を大切にし、安心して自分らしさを発揮できる場を構築する。
- ・教職員自らが、新しいことにチャレンジ（授業構築）する。
- ・生きる力を育む。
- ・一人一人に応じた指導の充実を図る。
- ・小学校、中学校合同授業を実施し、子ども同士の関わり合いによる学びの場を創造する。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	原籍校の実態を踏まえて年間のカリキュラムを見直し、児童生徒が原籍校へ戻った時のことを考慮した授業を行っていたか。	A	原籍校との連携に努め、原籍校の学習進度を見通して分校の授業内容を改善し、児童生徒に学ぶ楽しさを実感させる。	A	A
	分校に入級する児童生徒の実態に応じた教育活動を実施していたか。	A	児童生徒の実態把握に努め、適切な支援を行うために、分校の在籍期間を見通したカリキュラムを設定していく。	A	A
	個に応じた指導の工夫、小中合同授業の活用から、楽しく、分かりやすい授業を行っていたか。	A	個で学ぶ良さや集団で学ぶ良さ、それぞれを教師が理解し、児童生徒がその良さを実感できるよう、授業改善を図っていく。	A	A
	児童生徒理解を適切に行い、児童生徒の学ぶ意欲が喚起される授業づくりを進めることができたか。	B	個々の目標を設定し、できた喜びを実感させたり、目標達成に向けた進捗状況を提示したりする手立てを通して、自ら学ぼうとする意欲を高められるよう関わる。	A	A
生徒指導	児童生徒を温かく受け入れながら信頼関係を構築するとともに、適切な心のケアに努めていたか。	A	今後も、児童との信頼関係を重視し、コミュニケーションの充実を図る。	A	A
	ひまわり集会、準備活動、委員会活動等の実施から、児童生徒の主体性を育む仲間との関わりを計画し、児童生徒の心の育ちに繋げていたか。	B	事前の準備や助言など、児童生徒の実態に応じた支援となるよう工夫することで、児童生徒の主体的な活動を促す。児童生徒が達成感を味わうことができるよう、教師の関わり方を工夫していく。	A	A
	病棟との児童生徒情報の共有、教員間の授業交流により、ひまわり分校での生活が児童生徒にとって充実した時間になっていたか。	A	校種を問わず児童生徒の様子を適宜共有し、分校教職員間で連携がなされるよう努めていく。	A	A
教育環境	図書環境整備、計画的な購入等を適宜実施することが、児童生徒の読書意欲の喚起や心の平穏につながっていたか。	A	子どもたちが手に取りたくなる図書について検討し、教職員のアイデアや情報をもとに整備を進める。配架の方法など工夫できる点はないか模索する。	A	A
いじめ対策	児童生徒・保護者・病棟関係者・原籍校の教諭等から積極的に情報を収集し、定期的に開催するいじめ防止対策委員会の内容を充実させることが、いじめの防止や早期発見、適切な対応につながっていたか。	A	「分校では大丈夫。」と先入観をもつことなく、常に未然防止、早期発見の意識を高めて対応にあたる。	A	A
信頼される学校づくり	分校・病院打合せ会、小児科・精神科連絡会議等の場を生かし、病院と分校との連携を図ることができたか。	A	病院関係者との会議や保護者との対話が、教育活動や様々な支援を充実させるために重要な機会であることを認識し、有効に活用できるようにする。	A	A
	授業参観や外部講師による授業、保護者アンケート等を活用し、保護者や病棟へ開かれた学校となるよう改善に努めていたか。	A	「分校だからこそできることは何か」を常に意識し、分校での取組を充実させるとともに、それらを広く発信することで、学校運営の改善に生かす。	A	A
	ひまわり分校の教育活動について、学校だより等やホームページで積極的に情報を発信していたか。	B	分校の教育活動を知ってもらおうことがどのようなメリットにつながるのかを考え、効果的かつ積極的に情報を発信できるよう努める。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<p>常に入院児童の疾患や治療方針を理解し、それに合わせた個々の学習指導に取り組んでいただき感謝しております。長期の闘病が必要な児の学習の機会が奪われないよう、引き続きご協力いただければ幸いです。</p> <p>分校連絡会議では、病棟ではわからない児の様々な様子をお聞きすることができ、児の気持ちに寄り添った医療のための重要な情報となります。</p> <p>また、病棟で行われているカンファレンスにもご多忙の中ご参加いただいておりますが、近年は医学的な理由以外にも分校への通級が困難な事例も散見され、教育者の視点からどうぞ遠慮なくご意見や解決策の提案をいただければ幸いです。</p>				